

local paper

川尻小学校区の魅力をお伝えする情報誌

2021年11月発行 vol.8

発行者 川尻小学校区ふるさと交流実行委員会

高 殿 上 君 知 る や

たか
てんじょう
きみしるや

vol.8

ごあいさつ

川尻小学校区
ふるさと交流実行委員会

湯川区長 高橋 達



一向に終息の見えない新型コロナウイルスの脅威。豊かな自然に囲まれ、水や空気に恵まれたふるさとで暮らす私たちの生活にも、少なからず影響を及ぼしています。私たちがさえそのような状況ですから、とりわけ都市部に住む皆さんは、何かと制約された生活を送られているのではないのでしょうか。ともすれば諦めかけてしまうことも時々ありますが、普通の日常が一日も早く戻ってくることを期待するものです。

およそ一年ぶりとなるふるさと情報紙をお届けします。西和賀町も隣接する北上市・横手市も昨年以上にコロナ感染が拡大しており、各地区の事業や行事はほとんど実施できない一年でした。その中から、わずかな題材を掘り起こし、記事にまとめてみました。少しのあいだ懐かしいあの頃に思いをはせながら、ふるさとの「今」を感じていただけたら幸いです。

まもなくやってくる冬。前冬のような豪雪だけは勘弁してほしいと願いながら、皆さんのご活躍を祈念しています。



岩滑橋上部工が

11月に完成予定!

前号でもご紹介した一般県道ゆだ錦秋湖停車場線岩滑橋橋梁工事。平成30年度に着工し、工事が続けられていましたが、令和3年11月末頃に、とうとう完成する運びとなりました。

完成した橋の四つ角には、湯田中学3年生と地元住民が書いた文字で造られた橋名板が表示されます!

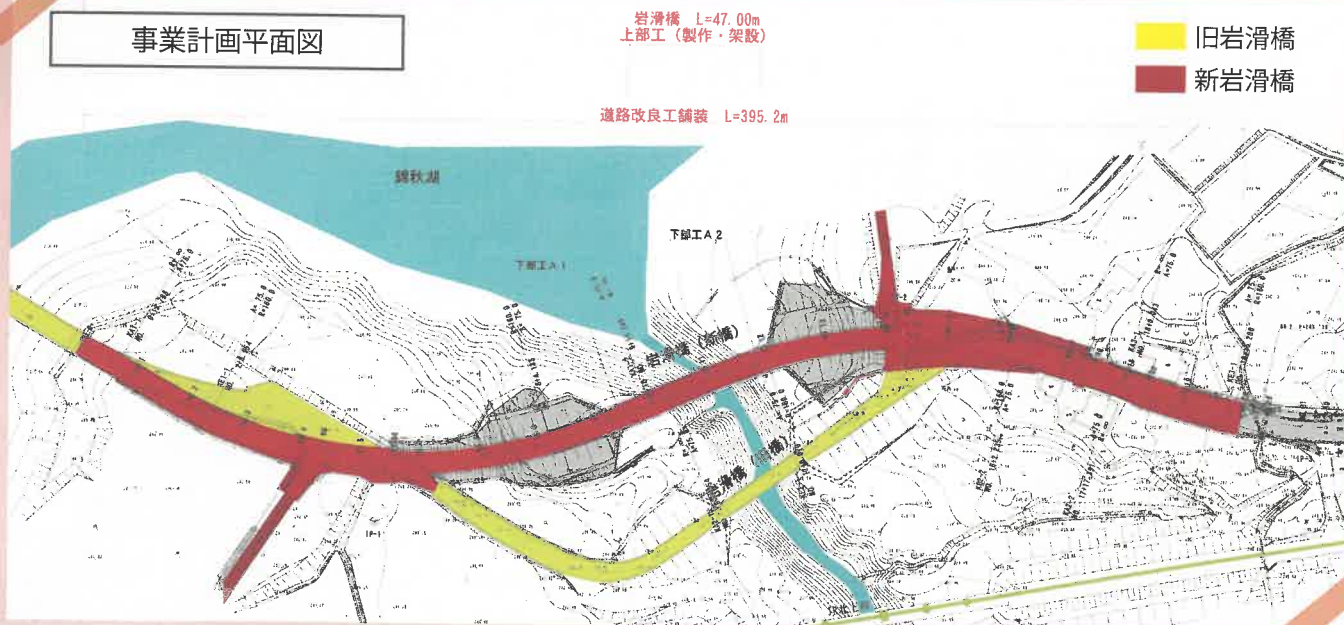
今後、残りの道路改良舗装工事を進め、年内の供用を目指しています。



年次別の工事実施状況

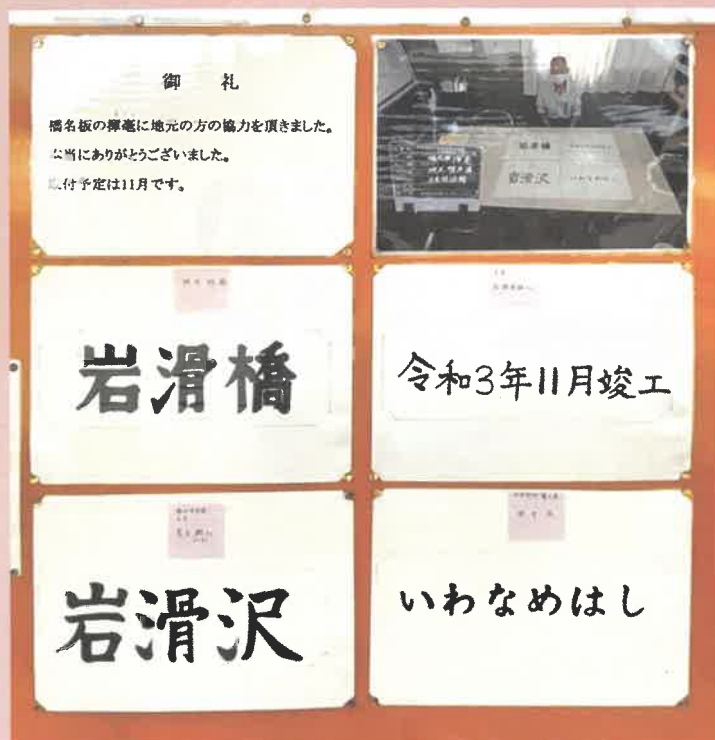
平成28年度	県用地買収
平成29年度	支障木の伐採、支障電柱の移設 一部道路拡張工事
平成30年度	橋梁下部工事(左岸側)
平成31年度	橋梁下部工事(右岸側)
令和2年度	道路改良(盛土)工事【その1その2】
令和3年度	岩滑橋現場見学会 橋梁上部工工事・道路改良舗装工事 完成予定

事業計画平面図





令和3年8月5日岩滑橋現場見学会の様子



中学生と地域住民の手書き文字

ベント工
桁架設工
(施工例)



床版工
地覆工



防水工
舗装工



完成予定



※床版工以降は他工事の例

岩滑橋が出来て、大変うれしい地区の声！

今までの岩滑橋はカーブがきつく、更に見通しも悪かった。幅が狭いために橋の上で車がすれ違うことができず、1台通り過ぎるのを待っていなければならなかったが、新しい岩滑橋は道幅が広くなり、通りやすくなるので怖さがなくなる！

耳取在住 高橋 加幸さん

今までの岩滑橋は、冬場の車の運転が怖かったです、広い道路になるので、これからは冬場も安心して運転ができます。

耳取在住
小田島 広子さん





5月6日時点



6月7日時点

107号通行止め 再開メド立たず

北上市と西和賀町を結ぶ国道107号は通勤、通学、買い物などで利用する人も多い道です。ですが、令和3年5月1日に発生した地震の影響か、地すべりが発生したため通行止めとなり6ヵ月程経過しました。

地震発生後、岩手県では地すべりの範囲の測定や応急工事、ボーリング工事などを進めていますが、いまだ通行再開の目途が立っていません。

来春の融雪期には、また地すべりが起こる可能性が高いため、それに対応する応急工事が9月から開始されました。

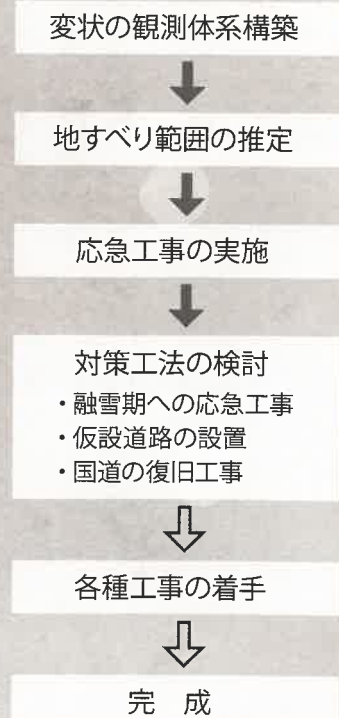
仮設道路については2案が検討されています。ひとつはダム湖内に仮の橋を設置してう回路を確保する案。もうひとつは、応急工事の上に更に盛土をして現国道を通行する案です。

いずれにせよ、再開はまだまだ先となり、通行する人はもちろん、107号にある道の駅の存続の問題も出てきています。

経緯

- | | |
|------|-------------------------------|
| 5月1日 | 一関市、釜石市で震度5弱の地震が発生
通行止めを開始 |
| 3日 | NEXCO 東日本に秋田自動車道無料化の要請 |
| 4日 | 秋田自動車道(北上西～湯田IC)の無料化開始 |
| 6日 | 監視カメラを設置 |
| 10日 | 国の専門家による現地調査 |
| 11日 | 県が伸縮計を設置。リアルタイム監視・観測を開始 |
| 15日 | 湯田ダム管理事務所が傾斜計を設置。監視・観測を開始 |
| 25日 | 第1回 情報連絡会議開催 |
| 26日 | 耳取地区住民説明会開催(町主催) |
| 28日 | 第1回 技術検討会開催 |
| 6月7日 | 水抜きボーリング開始 |
| 10日 | 第2回 情報連絡会議 |
| 7月5日 | 国の専門家による現地調査等 |
| 14日 | 第2回 技術検討会 |
| 15日 | 第3回 情報連絡会議 |

災害復旧スケジュール



今このあたり



7月15日時点の調査結果



特に北上市に通勤している人達にとって重要な道だった107号。秋田自動車道の湯田ICから北上西ICの間が無料となり、そちらを使うこともできますが、107号に比べてロスが多く、不便だという声が多く上がっています。

また、107号沿いにある道の駅錦秋湖は、年間約10万人が訪れ、売上は8～9千万円と産業公社の貴重な収入源となっていたため、今回の休業でかなりの打撃を受けました。町は経営の安定化を図るため、移転の検討を始めています。

ハイキングコース ― 川尻・湯本保育園

今回のふるさと情報は愛好者にひそかに知れ渡り、町外からも訪れて登っている方もいるカモシカハイキングコースを紹介します。コースは旧川尻小学校のウラ山で全長2km程、所要時間は2時間位です。

スタートは南昌寺（海拔250m）から登り（逆からも登れます）、川尻神社から1km程登れば約中間地点の展望台（447m）に到着します。ここからの北側の眺めは抜群で、登山での疲れが癒されます。湯本の街並みや沢内の集落が一望でき、高下岳（1323m）、和賀岳（1440m）、真昼岳（1060m）、女神山（956m）という奥羽山系の山並みもパノラマに見えます。帰りは尾根道を南下します。湯田中学校が見えてから、さらに下るとみはらし岩に到着します。川尻の街並み、錦秋湖を見下ろしつつまた下って行くと、ゴールの川尻保育園に到着です。

コースは川尻観光協会が整備し、年2回ハイキングを募集し登っております。川尻、湯本保育園の年長組さんも一緒に毎年ハイキングを実施しております。5月ごろの新緑、10月中すぎの紅葉が景色の良い時期かと思えます。

3月末ごろにカタ雪を渡って登るのも楽しいようです。

川尻一区長 山本幸男



写真 高橋秀幸氏



川尻保育園

グラウンドゴルフ ― 川尻地区

6月9日に旧川尻小学校の校庭で、一区と二区の老人クラブによるグラウンドゴルフ交流会を楽しみました。

コロナ禍の中でしたがマスク着用は勿論、感染防止をはかり、22名の参加で和気あいあいの中でゲームを楽しみました。すぐ近くにいるのに中々顔をあわせる機会がない日々で「あやう、ひさしぶりだなあ、まめでらが!」、「んだな、久しぶりだ。やあも、まめで、えーごど!」等々。ボールが入っても外れても「アハハハ!」とシニアパワーが青空に響き渡りました。

コースはクラブの有志で草刈整備されており、いつでも誰でもグラウンドゴルフを楽しむことができるようにホールポストも常設され、クラブ・ボール等も学校の玄関に用意しております。是非遊びに来て下さい。

そして又、交流会があったら、上野々・小繋沢地区の皆さんも参加して親睦を深めたら良いのではないかと考えております。

川尻二区長 藤田陽子

写真 五十嵐幸雄氏



寄稿

本誌に寄せられた、ふるさとの思い出をご紹介します。

貴紙を手取るたびに私は、たちまち湯田中学生に戻ってこの一節を口ずさむひとときを得ることができます。いつもお送りいただき感謝申し上げます。

私と主人は、秋田駅の東口10分くらいのところに自宅カフェとふくらはぎ専門店を営んでおります。

来店のお客様には、西和賀町の秋の錦秋湖と山々の美しさ、春には山菜の美味しさなどをお伝えしています。昨年秋には紅葉を見がてら、高繁旅館に2泊してくれたお客様もいるほどです。

今回は湯川のせせらぎの宿(吉野家)に後継者の方が活躍されている姿を読んで嬉しく思いました。

湯川出身 高橋万里子

いつもふるさとの最新の情報を寄せて頂きありがとうございます。今年は、コロナに苦しんだ大変な年でした。岩手県も感染者が増えています。西和賀町はどうでしょうか？大雪にも見舞われている今日この頃ですが皆様の益々のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。来年は佳き年になりますように。

土畑出身 匿名

ありがたいふるさとの山

ふるさとの山と言えば川尻のシンボル高殿上(標高509m)が一番先に浮かぶ。

思い出多い高殿上には毎年9月から10月にかけて4回位キノコ採りに登った。標高差260m程度の山であるが、これがなかなかきつく、多くは大沓沢からのコースになる。キノコ採りなので、その年の天候によって全然ない年と豊作の年とがあり、行って見ないとわからない。それでも高殿上が私を待っていていそうで、その時期になると天候を気にしながら、空戻り覚悟で行くことになる。

高殿上は、昔は大シメジ、今では赤キノコ、千本シメジ、コナラシメジなどが多い。ナラの巨木に時々生えるマイタケに恵まれたこともあった。

何もない時は、決まって頂上近くにある栗林を覗く。ここはクマの領域で、クマが栗を食った跡やフンなどが生々しく、クマも私が領域に入ってきたことを感知し、少し離れたところで私が立ち去るのを待っていたようだった。川尻の人たちは皆お人好しだが、クマもお人好しならぬおクマ好しだったと思うこの頃である。

また高殿上には太平洋戦争時代東の空から飛来するアメリカ軍機を見張り、川尻を守るため、防空監視所があったと聞いた。

ふるさとの高殿上はありがたい山である。

川尻出身 高橋 正之